

# 桃谷中学校 元気アップ通信

令和8年6月

さっそくですが、今月は今年度初めての定期テストがあります。いつもより範囲が広いと思いますが、準備は整っていますか？早め早めの対策をしていってくださいね。

図書館の学習プリントを取っていている生徒さんをお見かけします。良いスタートが切れていると思います。

元気アップではテスト前の学習会の開催と学習プリントの補充。息抜きのための図書館の新しい企画を準備しましたので、ぜひご活用してください。

## 期末テスト前自主学習会

期末テスト前自主学習会を開きます。

参加申込書を後日配布しますので担任の先生に提出してください。

**\*担任の先生のサインがないと参加できません。**

日程は以下の通りです。

6月 15日(月)・16日(火) 図書館

各日放課後から17時までです。

毎回騒がしい人がいます。

他の人の迷惑になるので退室してもらいます。

提出物のワーク等をやるのは良いのですが、0スタートではなく、日々コツコツ進めていくことをお勧めします。

## 図書館の断捨離

桃谷中学校の図書館には毎年新刊として500冊超の本が入って来ています。だいたい本棚3~4つ分。その割には図書館ってあふれかえってないよね？

そうなんです。図書館の本は人知れず廃棄されているんです。

棚に段を増やすなどなるべく残そうとはしていますが、それだけでは間に合いません。なので重い決断をして廃棄し、新しい本を配架します。

ではどのような本が廃棄されるのか。

例えばとても古くて劣化が見られる本。背表紙の字が見えづらくなっていたり、中の紙にシミが見られるような本は廃棄されます。

百科事典や図鑑などは10年も経つと情報が古くなっているので廃棄されます。

そして新しくコンパクトになっている本を探して新刊としてまた配架します。

廃棄するときに、一度も手に取られたことがないような本だったりすると悲しくなるのでみなさん少しでも手に取ってみてくださいね。

## 高校入試でよく出題される作家とその本

高校入試国語でよく作品が出題される作家さんがいます。

作品の特徴は現代の青春小説や家族ドラマをテーマにしていることが多いようです。

今月はよく出題される作家さんとその代表作を紹介していこうと思います。

### 辻村深月

#### 『この夏の星を見る』 KADOKAWA

コロナ禍で青春を制限された2020年の中高生たちを描いた物語。

茨城、東京、長崎五島の中高生が、自作の天体望遠鏡を用いてオンラインで繋がり、「スターキャッチコンテスト」を通じて困難な夏を乗り越えていく姿を描いています。



辻村深月さんの作品は人間描写が繊細で丁寧なことから読み手の心にグッと刺さります。

また、物語の随所に張り巡らされた伏線が終盤に鮮やかに回収されるミステリー要素もあるため読後感がスッキリする作品も多いです。

### 青山美智子

#### 『お探し物は図書室まで』 ポプラ社

人生に生き詰まりを感じている5人が、ふと立ち寄った町の小さな図書室で、不愛想だけど聞き上手な司書・小町さゆりに出会い、思いがけない本と羊毛フェルトの付録をきっかけに新たな一歩を踏み出す連作短編集です。



青山美智子さんの作品はさまざまな主人公が活躍する連作短編集が特徴で、人の心の奥にある想いや、日常のぬくもりを丁寧に描き出し、私たちの疲れた心を癒してくれます。

高校入試の出題としては、現代の中高生が抱える悩み、SNS、人間関係などをリアルに描写しており、その人物の心の変化や情景描写を正確に読み解く力が試されています。

図書館では『高校入試に出題された本』と題してコーナーを作成しました。

ぜひ手に取ってよんでみてください。

他の作家さんの本も展示してあります。

